

平成28 年度

全国学力・学習状況調査の
結果について



海老名市立今泉中学校

目次

| | |
|--------------------------|------|
| 全国学力・学習状況調査について | P. 1 |
| 「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 2 |
| 「数学に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 3 |
| 「生徒質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」 | P. 4 |
| ご家庭で取り組んでいただきたいこと | P. 5 |



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人には、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成28年4月19日(火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- どの領域も、おおむねバランスよく知識を習得しています。
- 言語領域において、「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」問いの正答率が高いです。
- 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項では、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」問いの正答率が高いです。

《努力を要する所》

- 全体を通して、無答率が高く、関心意欲、基礎知識の点で努力を要する生徒がいることがわかります。
- 「書く」領域において、資料を整理し、構成し文章化する問いや、根拠を明確にした短い文章を書く問いに対する正答率が低い状況にあります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 提示された資料から、目的に応じて必要な情報を読み取る問いの正答率が高いです。
- 提示された記事について、文章の構成をとらえる問いの正答率が高いです。

《努力を要する所》

- 提示された文章から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く問いは、無答率が高く、正答率も低い状況にあります。
- 提示された内容に対して疑問をもち、課題を決め、情報収集方法を考える問いには、無答率が高く、正答率も低い状況にあります。



これまでの取組から

- 授業の最初に漢字の小プリントを実施し、漢字ワークを定期的に提出することで、継続的に語彙習得に努めました。また、文章読解に先立ち、意味調べを行い、読解をより正確なものにしました。
- 各学期にスピーチ、話し合い活動を行い、「課題をもつ」→「考える」→「書く」→「話す」→「聴く」→「まとめる」学習を取り入れました。

今後の具体的な取組について

- 無答率の高さから、基礎の段階で躓いている生徒がおり、基礎基本の習得に特別な手立てが必要であると考えます。
- 文章の読解はおおむねできますが、限られた時間で自分の考えをまとめ文章化する力をつけることに課題があると思われるので、時間設定をした上での課題作文を取り入れていきます。

数学に関する調査結果

数学 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 数と式についての数学的な技能が身についています。特に、正負の数の加法及び整式の加法と減法については理解度が高いです。
- 図形分野についての知識・理解については比較的優れています。特に、命題の逆についてはよく理解しています。
- 確率について理解し、簡単な確率をきちんと求めることができます。

《努力を要する所》

- 比例と反比例についての定着に課題が見られます。
- 垂線の作図についての理解度が低い状況にあります。
- 数量関係を文字式に表すことに課題が見られます。

数学 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 数と式に関しての数学的な見方や考え方は比較的できています。
- 与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することに関しては比較的できています。
- 一次関数についての表から、数量の変化や対応の特徴を捉えることができます。

《努力を要する所》

- 与えられた式を用いて、問題解決の方法を説明することに課題が見られます。
- グラフから事象を数学的に解釈する力が弱い状況にあり、それを用いた問題解決の方法や理由を数学的に説明することに課題が見られます。



これまでの取組から

- 基本的な計算を重視してきましたので、正負の数や整式の計算はある程度できるようになりました。
- 数学的な考え方を伸ばす観点での授業が少なかったと思われるので、改善していきます。

今後の具体的な取組について

- 基礎・基本からつまづいて、数学の学習を諦めてしまうことのないように、個別指導等の支援を行っていきます。
- 定着させる時間や、既習の学習内容を振り返る時間をなるべく多くとり、学習内容の定着を高めていきます。
- 発言する機会を増やし、説明する活動を充実させていきます。

生徒質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 「学校の授業以外で、月～金曜日に1日あたり1時間以上勉強している」と答えた生徒が全体の7割弱を示し、県・全国平均に並んでいます。
- 「授業の中で分からないことがあったとき授業中や授業後に先生に尋ねに行く」と答えた生徒が全体の高い割合を示し、その他「友達、家の人、学習塾の先生などに尋ねに行く」生徒も多く、分からないことをそのままにする生徒がとても少ないです。
- 「読書は好き」と答えた生徒が全体の7割強を示し、県・全国平均と比較しても多いです。

《課題と思われる所》

- 「1日当たり、通話、メール、インターネットを1時間以上している」と答えた生徒が全体の5割強であり、全国平均を大きく上回っています。

生活について

《よかった所》

- 「学校に行くのが楽しい」「学校で友達に会うのは楽しい」「学級会などの時間に友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思う」「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と答えた生徒が全体の9割以上を示し、県・全国平均と比較しても学校・学級での生活に満足する生徒が多いです。
- 「自分には、よいところがある」と答えた生徒が全体の7割を示し、県・全国平均と比較しても自己肯定感の高い生徒が多いです。
- 「人が困っているときは、進んで助ける」と答えた生徒が全体の9割を示し、県・全国平均を大きく上回っています。

《課題と思われる所》

- 「将来の夢や目標を持っている」と答えた生徒が全体の6割程度であり、県・全国平均を大きく下回っています。
- 「地域の行事に参加している」と答えた生徒が全体の4割であり、「地域・社会の問題や出来事の関心」も県・全国平均を大きく下回っています。

これまでの取組から

- 「適切な人権意識の育成」や「自分を大切にし、他の人を大切にする心」を育む学習実践を進めてきたことが、落ち着いた学習環境をつくり、生徒の豊かな心を育みつつあります。

今後の具体的な取組について

- 情報リテラシー教育をさらに進め、情報に流されず適切にそれを活用する能力を伸ばしていきます。また、保護者会や学校便り等で、家庭への協力を繰り返し呼びかけていきます。
- 学校だけでなく、地域や家庭にも情報を発信し、共に今泉中学校の生徒の育ちを願い、その実現をめざします。
- 系統的なキャリア教育の推進をめざし、生徒が将来の夢を持ち、その具現化に向けて主体的に取り組もうとする姿勢の育成に努めます。

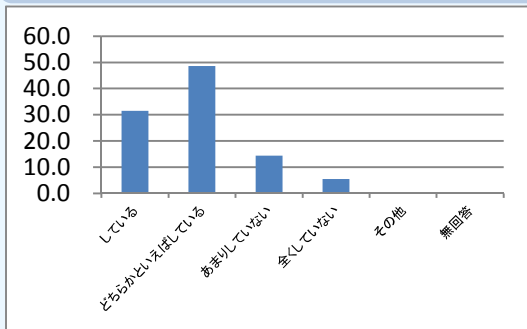
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「家庭で学力を育てる4項目」をまとめました。ご家庭の状況にあわせて、できることからぜひ始めてみましょう。

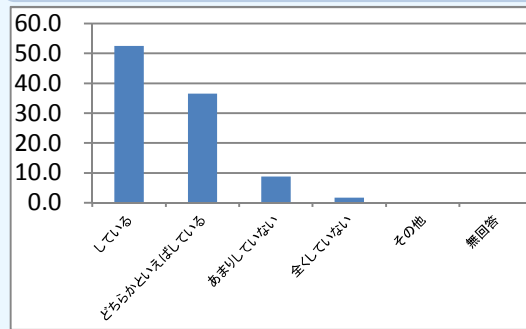
1 規則正しい生活習慣を大切にしましょう。

「早寝・早起き・朝ご飯！」という合い言葉を聞いたことがありますか？平成22年度から「元気なえびなっ子プラン」「えびなっ子あわせプラン」として、平成29年度まで市をあげて実現に向けて取り組んでいる内容です。本校では、昨年度よりも良い結果が出ています。今後も、ご家庭での協力をお願いします。

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



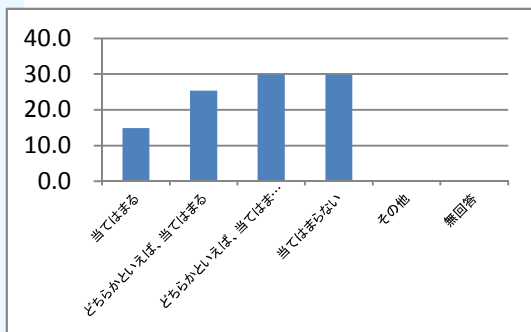
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



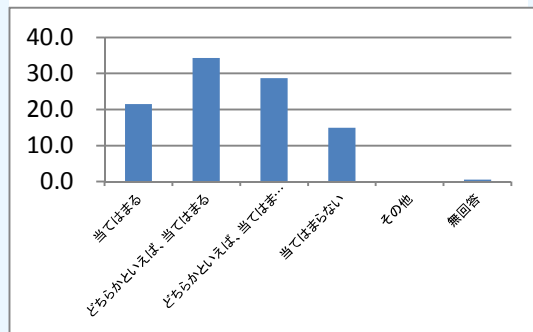
2 地域の活動には、家族で積極的に参加しましょう。

経済・社会環境や人々の意識の変化に伴い、地域のつながりが希薄化したと言われていています。近年、地域におけるボランティアや市民活動が、新たなつながりとして増加傾向にあります。さらに、少子高齢化、核家族化、地域の教育力の低下への対応として、地域が果たす役割への期待が大きくなっており、地域のつながりの重要性がますます高まっています。

今住んでいる地域の行事に参加していますか



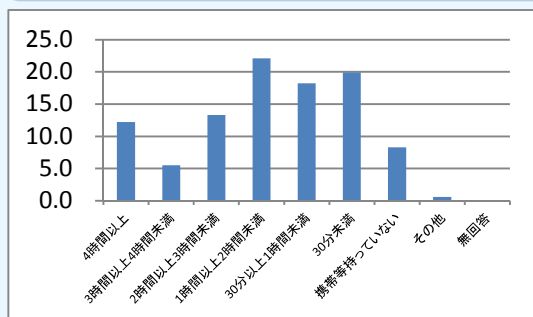
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか



4 使用時間を決めてしっかり守りましょう。

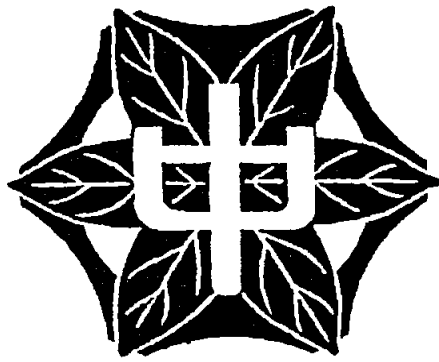
1日あたりの使用時間を決めて使わないと、なかなかやめられないものです。また、SNS(ソーシャルネットワークサービス)でのトラブルにも気をつけましょう。

普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



棒グラフは、各設問の回答者数を表しています。少しずつ、できることから始めてみましょう。





平成28年12月